

見学のお願

- 展示室内では、鉛筆、色鉛筆、シャープペンシルを使用してください。
サインペン、ボールペンなどのインクの出る筆記具は、使用できません。
- 展示物には、手を触れないでください。
- 飲食は、定められた場所をお願いします。
- 館内では走らないでください。

利用案内

[開館時間]

■博物館

3月～9月 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

10月～2月 9:30～16:30 (入館は16:00まで)

■くらしの植物苑

9:30～16:30 (入苑は16:00まで)

[休館日]

毎週月曜日(ただし休館となる日が休日にあたる場合は開館し、翌平日を休館日とします)

※8月10日は開館します

5月12日・6月2日・6月30日・8月4日・9月1日・9月29日・12月8日・2027年2月9日・3月2日

年末年始(12月27日～1月5日)

その他館内メンテナンス、悪天候等のため休館する場合があります。

[入館・入苑料]

- 小・中学生・高校生「無料」
- 引率の教員「無料」※下見は学校の来館の予約がある場合、3名まで無料
*教員以外の大人(カメラマン等)は有料(総合展示900円、くらしの植物苑200円)

[写真撮影]

展示室内は撮影可能ですが、フラッシュは使用できません(一部撮影禁止の場所があります)。

※館・苑内で撮影した写真は、学校における授業での活用が可能です。

[駐車場]

駐車場あり。バス利用の場合は、事前に必ずご連絡ください。

※ご不明な点等がございましたら、お電話にて直接お問い合わせください。

Tel. 043-486-4341 (平日 9:00～17:00)

れきはくホームページ内「学びの場」→「学校の先生へ」ページでは、「教室で使えるもの」「職場体験・インターンシップ」「先生のためのれきはく活用」を公開しています。
ご見学以外でも、ぜひ歴博をご活用ください。

2026年度(令和8年度) 先生のための れきはく利用ガイド

いつもの授業に歴博利用をプラスしてみませんか?

国立歴史民俗博物館とは?

1983年に開館した国立歴史民俗博物館(歴博)は、日本の歴史と文化に関する研究を組織的かつ持続的に推進するために設置された大学共同利用機関です。約27万点の資料を所蔵しており、その中から選んだ資料を6つの総合展示室にわけて展示しています。

第1展示室 先史・古代

—主に旧石器時代から奈良時代まで—

第2展示室 中世

—主に平安時代から安土・桃山時代まで—

第3展示室 近世

—主に江戸時代—

第4展示室 民俗

—現代の生活文化とさまざまな伝承—

第5展示室 近代 **2026年3月17日リニューアルオープン**

—主に明治時代から1920年代まで—

第6展示室 現代

—主に1930年代から1970年代まで—

企画展示室

○アイヌ民族と博覧会 —150年の経験— 2026年10月6日～11月29日

○旗本とはなにか 2027年3月9日～5月9日

歴博のある場所は、江戸時代には佐倉城が、明治時代になってからは佐倉連隊の施設がおかれ、現在は、佐倉城址公園と接しています。野外には、歴博の併設施設として、昔から人びとのくらしに深く関わってきた植物を栽培・展示している「くらしの植物苑」もあります。





1

見学の申し込み



Tel. **043-486-4341**
(平日 9:00~17:00)

▶ 予約は希望日の3か月前より受け付けます。
※希望日の3か月前にあたる日が土曜・日曜・祝日の場合は、それ以降の最初の平日から受け付けます。

▶ ①学校名 ②ご利用日 ③見学時間(下記参照) ④人数 ⑤ガイダンス等の希望 ⑥団体休憩所使用(昼食)の有無 ⑦下見の日時等をお伝えください。

▶ 学校団体の受入人数は引率者を含めて200名程度までとなります。

▶ 雨天時のみの予約はお受けしておりません。

見学時間について

午前の部・午後の部のいずれかをお選びください。

● 午前の部 ●
9:30~12:30 見学/12:30~13:30 昼食
● 午後の部 ●

11:30~12:30 昼食/12:30~15:30 見学
※上記時間内であれば、見学、昼食時間の調整は可能です。

2

れきはくの下見



下見の際の入館・入苑は3名まで無料です。館内の様子や展示の内容についてご確認ください。博物館スタッフに、当日の流れなどについてご相談ください。

※下見の日程が決まりましたら、ご連絡ください。

3

学校での事前学習

ウェブサイトをご活用ください。

□ 当館紹介映像(約15分)をご視聴ください。
・小学生~中学生向け「れきはくこどもたんけんたい」
・中学生~一般向け
※博物館TOP > 学びの場 > 学校団体の申込方法

□ 各展示室の気になる展示物をチェックしておくことをおすすめします。

・小学生~中学生向け
※こどもれきはくTOP > れきはくとは > 展示室案内
・中学生~一般向け
※博物館TOP > 総合展示



博物館 TOP



こどもれきはくTOP



5

学校での事後学習



博物館での活動をまとめてみませんか。ぜひ、資料(配布物等)を送りください。

教室でれきはくを体験

動画コンテンツ

歴博YouTubeチャンネルにて、学習に役立つ動画コンテンツを公開しています。

- 博物館の展示物をもとに動画を使って授業を行うことができます。
- 動画に対応した指導案、ワークシートも公開しています。

オンラインガイダンス

オンラインで教室とつなぎ、博物館の展示物を活用した授業を実施します。(主に遠方の学校が対象)

- 博物館の学校対応職員がオンライン授業を実施します。
- 事前の予約が必要です。(当館の状況や時期によって、実施をお断りする場合があります)

※上記の詳細については、れきはくホームページをご覧ください。
博物館TOP > 学びの場 > 教室で使えるもの

れきはくホームページ



4

れきはく見学

館内には多くの展示物があり、全て見学するには2時間~2時間半程度が目安となります。

到着

- 長時間のバス移動の場合は、駐車場トイレをご利用ください。
- 入口外で集合写真の撮影をさせていただいても構いません。

入館

ガイダンス

博物館スタッフが対応します。ご希望のコースを1つお選びください。

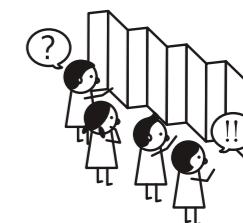
- ①ダイジェスト — 各展示室のポイント紹介
- ②縄文文化 — 三内丸山遺跡から縄文人の暮らしを考える
- ③平安文化 — 寝殿造の調度品から貴族の暮らしを考える
- ④室町文化 — 洛中洛外図屏風から京都の暮らしを考える
- ⑤江戸文化 — 江戸図屏風から江戸の暮らしを考える

所要時間: 20分程度 場所: 講堂またはガイダンスルーム
※上記以外に、諸注意のみ(7分程度)のガイダンスもあります。
※電話予約の際、ご希望をお伝えください。(事前予約必須)



展示室見学

- 人数が30人を超える場合は、最初に見学する展示室を分けてください。(分散してスタートした後は、自由にご見学いただけます)
- 荷物は入室した部屋に置いたまま見学していただいて構いません。(見学中は部屋を施錠します)



博物館で使える道具・空間

より効果的に見学するための様々な道具を用意しています。目的に応じてご活用ください。

※見学時間に合わせた活用をおすすめします。あらかじめご相談ください。

れきはくこどもマップ

展示資料をさがしながら見学できる館内マップです。持ち運びやすく、見た資料の写真を持ち上げながら利用できます。小学生には、当日人数分を配付します。

れきはくこどもワークシート

展示資料を見ながら児童が取り組めるワークシートです。「見学のしおり」などを作成する際の参考資料としてもご利用ください。学校にて人数分を印刷してください。

寺子屋れきはく(第3展示室内)

くずし字体験(1人15分程度)、双六など江戸時代の子どもの学びや遊びを体験できるスペースです。ボランティアスタッフが対応します。混雑時は、お待ちいただくこととなります。(事前予約可)

たいけんれきはく

日本の歴史や文化を体験を通して学べるスペースです。土器パズルやスタンプコーナーがあります。



退館

- 見学後は、ガイダンスを受けた場所に集合します。(出発もしくは昼食開始の10分前を目安にトイレを済ませて集合してください)

昼食出発

- 昼食は芝生広場もしくは団体休憩所(要予約)をご利用ください。
- 団体休憩所の使用後は、清掃等の原状復帰にご協力ください。
- 退館後のお手洗いは駐車場トイレをご利用ください。